監 査 報 告 書

令和８年５月22日

社会福祉法人清章福祉会
理事長　清元加代　　殿

監事　澤田巧　印

監事　東畑耕司　印

私たち監事は、令和７年４月１日から令和８年３月31日までの令和７年度の理事の職務の執行について監査を行いました。その方法及び結果について、次の通り報告いたします。

１　監査の方法及びその内容

各監事は、理事及び職員等と意思疎通を図り、情報の収集及び監査の環境の整備に努めるとともに、理事会その他重要な会議に出席し、理事及び職員等からその職務の執行状況について報告を受け、必要に応じて説明を求め、重要な決裁書類等を閲覧し、業務及び財産の状況を調査しました。以上の方法により、当該会計年度に係る事業報告及びその附属明細書について検討いたしました。

さらに、会計帳簿又はこれに関する資料の調査を行い、当該会計年度に係る計算関係書類（計算書類及びその付属明細書）及び財産目録について検討しました。

２　監査の結果

（１）事業報告等の監査結果

①　事業報告及びその附属明細書は、法令及び定款に従い、法人の状況を正しく示しているものと認めます。

②　理事の職務の遂行に関する不正の行為又は法令若しくは定款に違反する重大な事実は認められません。

（２）　計算関係書類及び財産目録の監査結果

計算関係書類及び財産目録については、法人の財産、収支及び純資産の増減の状況を全ての重要な点において適正に表示しているものと認めます。

以上

監事監査意見書

令和８年５月22日

社会福祉法人清章福祉会
理事長　清元加代　　殿

監事　澤田巧　印
監事　東畑耕司　印

私たちが、令和８年５月22日に実施した監事監査において指摘、質問した事項の回答は下記のとおりです。

記

事業報告等の監査

1、事故・苦情ついて

前年度と比較し、苦情件数の増加を確認。施設として苦情の内容を把握し、改善に努める必要がある。